

官報

号外 平成七年八月四日

○第百三十三回国 衆議院会議録 第一号(一)

平成七年八月四日(金曜日)

議事日程 第一号

平成七年八月四日

午前十時開議

第一 議席の指定
第二 会期の件

○本日の会議に付した案件

日程第一 議席の指定

日程第二 会期の件

内閣、運輸及び予算の各常任委員長辞任の件

内閣委員長外二常任委員長の選挙

災害対策を樹立するため委員四十人よりなる災害対策特別委員会、公職選挙法改正に関する調査を行うため委員二十五人よりなる公職選挙法改正に関する調査特別委員会、石炭に関する対策を樹立するため委員二十五人よりなる石炭対策特別委員会、物価問題等国民の消費生活に関する対策を樹立するため委員二十五人よりなる消費者問題等に関する特別委員会、交通安全に関する総合対策樹立のため委員二十五人よりなる交通安全対策特別委員会及び沖縄及び北方問題に関する対策樹立のため委員二十五人よりなる沖縄及び北方問題に関する特別委員会を設置するの件(議長発議)

関する特別委員会を設置するの件(議長発議)
国会等の移転に関する調査を行うため委員二十五人よりなる国会等の移転に関する特別委員会、地方分権の推進に関する調査を行うため委員二十五人よりなる地方分権に関する特別委員会及び規制緩和に関する調査を行うため委員二十五人よりなる規制緩和に関する特別委員会を設置するの件(議長発議)
中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案(中村正三郎君外九名提出)

午後零時三十三分開議

○議長(土井たか子君) 皆さん、第百三十三回国会は本日をもって召集されました。これより会議を開きます。

日程第一 議席の指定

○議長(土井たか子君) 日程第一、議席の指定を行います。

衆議院規則第十四条によりまして、皆さんの議席は、議長において、ただいまの仮議席のとおりに指定いたします。

日程第二 会期の件

○議長(土井たか子君) 日程第二、会期の件につきお諮りいたします。

今回の臨時会の会期は、八月八日まで五日間といたしたいと思います。これに賛成の皆さんの起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(土井たか子君) 起立多数。よって、会期は五日間とすることに決まりました。

常任委員長辞任の件

○議長(土井たか子君) 常任委員長辞任の件につきお諮りいたします。

内閣委員長田中恒利さん、運輸委員長長井上一さん及び予算委員長佐藤観樹さんから、それぞれ常任委員長を辞任したいとの申し出があります。これを許可するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土井たか子君) 御異議なしと認めます。よって、許可することに決まりました。

常任委員長の選挙

○議長(土井たか子君) つきましては、これより各常任委員長の選挙を行います。

○山本有二君 各常任委員長の選挙は、その手続を省略して、議長において指名されることを望みます。

○議長(土井たか子君) 山本有二さんの動議に御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土井たか子君) 御異議なしと認めます。よって、動議のとおり決まりました。

議長は、各常任委員長を指名いたします。

内閣委員長 大木 正吾さん

(拍手)

運輸委員長 辻 一彦さん

(拍手)

予算委員長 上原 康助さん

(拍手)

特別委員会設置の件

○議長(土井たか子君) 特別委員会の設置につきお諮りいたします。

災害対策を樹立するため委員四十人よりなる災害対策特別委員会

公職選挙法改正に関する調査を行うため委員二十五人よりなる公職選挙法改正に関する調査特別委員会

石炭に関する対策を樹立するため委員二十五人よりなる石炭対策特別委員会

物価問題等国民の消費生活に関する対策を樹立するため委員二十五人よりなる消費者問題等に関する特別委員会

交通安全に関する総合対策樹立のため委員二十五人よりなる交通安全対策特別委員会及び

沖縄及び北方問題に関する対策樹立のため委員二十五人よりなる沖縄及び北方問題に関する特別委員会
を設置いたしたいと存じます。これに御異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(土井たか子君) 御異議なしと認めます。よって、そのとおり決まりました。

次に、

国会等の移転に関する調査を行うため委員二十五人よりなる国会等の移転に関する特別委員会
地方分権の推進に関する調査を行うため委員二十五人よりなる地方分権に関する特別委員会及び

規制緩和に関する調査を行うため委員二十五人よりなる規制緩和に関する特別委員会
を設置いたしたいと存じます。これに賛成の皆さんの起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(土井たか子君) 起立多数。よって、そのとおり決まりました。

ただいま議決されました九特別委員会の委員は追って指名いたします。

○山本有二君 議事日程追加の緊急動議を提出いたします。

中村正三郎君外九名提出、中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案は、提出者の要求のとおり、委員会の審査を省略してこれを上程し、その審議を進められることを望みます。

○議長(土井たか子君) 山本有二さんの動議に御異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○議長(土井たか子君) 御異議なしと認めます。よって、日程は追加されました。

中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案(中村正三郎君外九名提出)

○議長(土井たか子君) 中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案を議題といたします。

提出者の趣旨弁明を許します。中村正三郎さ

中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案

(本号(一)末尾に掲載)

(中村正三郎君登壇)

○中村正三郎君 私は、自由民主党・自由連合、新進党、日本社会党・憲法民主連合、新党さきがけを代表いたしまして、ただいま議題となりました中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案について、趣旨弁明を行うものであ

ります。

本年八月六日及び九日は、広島と長崎に原子爆弾が投下され、両都市が瞬時に焦土と化し、約二十万人の人々のとうとう命が奪われましてからちょうど五十年の節目を迎えます。

現在においても、まだまだ多くの人々がその後遺症により苦しんでおられます。ここに改めて、犠牲となられました方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、いまだに療養中の方々に對しまして、心からお見舞いを申し上げる次第であります。

我が国は、世界の中で唯一の核被爆国であります。人類が二度とこのような悲惨な災いを繰り返さないよう、あらゆる国のいかなる核実験に對しても、我が国こそが反対を表明しなければならぬと確信するものであります。

本院は、過去六度にわたり核実験反対の決議を行い、世界の平和と人類の幸福のために、核実験禁止を日本国民の悲願として強く表明してまいりました。

しかるに、中国は去る五月十五日、地下核実験を行ったことを発表し、また、フランスは六月十三日、本年九月から来年五月までの間、八回にわたってムルロア環礁で核実験を再開することを発表しました。

ムルロア環礁では、放射性物質の流出による環境汚染が懸念されており、南太平洋諸国を中心に核実験再開に對する世界的な抗議行動が広がる中、同地では着々と実験の準備が進められていくと聞いております。

政府においては、中国、フランス両国政府に對し、外交ルートを通じて重ねて核実験中止を求め

ておりますが、さらに我が国は、核実験反対の明確な態度を世界に重ねて表明し、核実験が行われることのないよう最善の努力を尽くすべきであります。

また、すべての国の核兵器の製造、実験、貯蔵、使用にも反対し、全面核実験禁止条約が一刻も早く締結されるよう一層の努力を払うべきであります。

以上の趣旨を踏まえ、本決議案を提出するものであります。

案文を朗読いたします。

中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議案

本院は、わが国が広島・長崎への原爆投下を経験した唯一の被爆国であることにかんがみ、あらゆる国の核実験に反対する。

中国の地下核実験に続き、フランスが核実験の再開を決定したことは、それがいかなる理由に基づこうとも、いかなる条件が付されていようとも、地球環境と生態系を破壊し、人類の生存をも脅かす行為である。さらに両国の核実験は、核不拡散条約への信頼を損ない、全面核実験禁止条約交渉に悪影響を及ぼしかねない。

本院は、核兵器廃絶への不断の努力を行うことを誓い、中国の核実験に厳重に抗議し、フランスが核実験再開決定を撤回するよう強く求める。

政府は、本院の趣旨が伝わるよう中国、フランス両国政府に對し、直ちに適切な措置を講ずるとともに、すべての国の核兵器の製造、実験、貯蔵、使用にも反対し、全面核実験禁止条

約の早期締結に努力すべきである。

右決議する。

以上であります。

何とぞ皆様方の御賛同を望むものであります。

(拍手)

○議長(土井たか子君) 採決いたします。

本案を可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土井たか子君) 御異議なしと認めます。

よって、本案は可決いたしました。(拍手)

この際、内閣総理大臣から発言を求められております。これを許します。内閣総理大臣村山富市

さん。

〔内閣総理大臣村山富市君登壇〕
○内閣総理大臣(村山富市君) ただいまの御決議

に對しまして所信を申し述べます。

政府は、これまで、国のいかに問わず、また理由のいかに問わず、核実験は停止すべきである旨強く主張してきたところでございます。最近では、中国が核実験を行う都度、嚴重抗議を続けてまいりました。また、今般のフランスの核実験再開の決定に對しましても、核実験を行わないよう再考を強く促してまいりました。

政府といたしましては、ただいま採択されました御決議の趣旨を体し、核実験の停止と全面核実験禁止条約交渉の早期妥結、さらには核兵器の究極的廃絶の実現に向けて関係国の理解と実行を促すよう、今後一層の努力を払う所存でございます。(拍手)

○議長(土井たか子君) 本日は、これにて散会いたします。

午後零時四十七分散会

出席國務大臣

内閣総理大臣 村山 富市君

○議長の報告

(報告書受領)

一、去る七月十一日、内閣から次の報告書を受領した。

国民生活安定緊急措置法第二十八条の規定に基づく平成七年一月一日から同年六月三十日まで

の間における同法の施行状況報告書

一、去る七月二十八日、内閣を経由して公害等調整委員会委員長長西山俊彦君から、公害等調整委員会設置法第十七条の規定に基づく平成六年度公害等調整委員会年次報告書を受領した。

(報告書受領)

一、去る一日、人事院総裁弥富啓之助君から次の報告書を受領した。

国家公務員法並びに一般職の職員の給与に関する法律及び一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律の規定に基づく一般職の職員の給与等についての報告並びに給与の改定についての報告

(議員退席)

一、去る七月六日、次の議員は、公職選挙法第九十条により、いずれも退職者となった。

岡山県第二区選出議員

石田 美栄君

愛媛県第一区選出議員 塩崎 恭久君
(理事補欠選任)

一、昨三日、議院運営委員長において、次のとおり理事の補欠を指名した。

理事 小沢 鋭仁君 (理事小沢鋭仁君去る一日委員辞任につきその補欠)

理事 亀井 善之君 (理事木村義雄君昨三日委員辞任につきその補欠)

(常任委員辞任及び補欠選任)
一、去る六月二十九日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

文教委員
辞任 山原健二郎君 補欠 藤田 スミ君
藤田 スミ君 山原健二郎君

農林水産委員
辞任 藤田 スミ君 補欠 山原健二郎君
山原健二郎君 藤田 スミ君

一、去る七月六日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。
大蔵委員
辞任 塩崎 恭久君 補欠 谷垣 禎一君
塩崎 恭久君 谷垣 禎一君

厚生委員
辞任 塩崎 恭久君 補欠 谷垣 禎一君
塩崎 恭久君 谷垣 禎一君

環境委員
辞任 持永 和見君 補欠 塩崎 恭久君
持永 和見君 塩崎 恭久君

一、去る七月二十五日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

運輸委員
辞任 米田 建三君 補欠 海江田万里君

一、去る七月二十六日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

運輸委員
辞任 海江田万里君 補欠 大矢 卓史君
海江田万里君 大矢 卓史君

一、去る一日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

議院運営委員
辞任 小沢 鋭仁君 補欠 渡海紀三朗君

一、去る二日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

通信委員
辞任 高見 裕一君 補欠 佐藤謙一郎君
高見 裕一君 佐藤謙一郎君

労働委員
辞任 佐藤謙一郎君 補欠 高見 裕一君
佐藤謙一郎君 高見 裕一君

一、昨三日、議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

内閣委員
辞任 北沢 清功君 補欠 大木 正吾君
北沢 清功君 大木 正吾君

農林水産委員

辞任

補欠

辻 一彦君

赤松 広隆君

運輸委員

辞任

補欠

赤松 広隆君

辻 一彦君

予算委員

辞任

補欠

細川 律夫君

上原 康助君

議院運営委員

辞任

補欠

木村 義雄君

龜井 善之君

渡海紀三朗君

小沢 鋭仁君

(常任委員退職)

一、去る七月六日、文教委員石田美栄君及び環境委員塩崎恭久君は、公職選挙法第九十条により退職者となった。

(特別委員辞任及び補欠選任)

一、去る六月二十三日、議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

沖繩及び北方問題に関する特別委員

辞任

補欠

中島 武敏君

古堅 実吉君

一、去る七月六日、議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

辞任

補欠

塩崎 恭久君

谷垣 禎一君

消費者問題等に関する特別委員

辞任

補欠

石田 美栄君

中村 時広君

一、去る七月二十四日、議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

辞任

補欠

塩崎 恭久君

谷垣 禎一君

消費者問題等に関する特別委員

辞任

補欠

石田 美栄君

中村 時広君

り特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

公職選挙法改正に関する調査特別委員

辞任

補欠

保岡 興治君

神崎 武法君

第百三十二回国会閉会中審査報告書

高齢社会対策基本法案等閉会中審査報告書

一 高齢社会対策基本法案(参議院提出、参法第六号)

二 行政機構並びにその運営に関する件

三 恩給及び法制一般に関する件

四 公務員の制度及び給与に関する件

五 栄典に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

内閣委員長 田中 恒利

地方自治に関する件等閉会中審査報告書

一 地方自治に関する件

二 地方財政に関する件

三 警察に関する件

四 消防に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

地方行政委員長 川崎 二郎

裁判所の司法行政に関する件等閉会中審査報告書

一 裁判所の司法行政に関する件

二 法務行政及び檢察行政に関する件

三 国内治安に関する件

四 人権擁護に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

法務委員長 金子原二郎

裁判所の司法行政に関する件等閉会中審査報告書

一 裁判所の司法行政に関する件

二 法務行政及び檢察行政に関する件

三 国内治安に関する件

四 人権擁護に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

法務委員長 金子原二郎

国際情勢に関する件閉会中審査報告書

一 国際情勢に関する件

右件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

外務委員長 三原 朝彦

国の会計に関する件等閉会中審査報告書

一 国の会計に関する件

二 税制に関する件

三 関税に関する件

四 金融に関する件

五 証券取引に関する件

六 外国為替に関する件

七 国有財産に関する件

八 専売事業及びたばこ事業に関する件

九 印刷事業に関する件

一〇 造幣事業に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

厚生委員長 岩垂寿喜男

臓器の移植に関する法律案(森井忠良君外十三名提出、第百二十九回国会衆法第七号)

二 厚生関係の基本施策に関する件

三 社会保障制度、医療、公衆衛生、社会福祉及び人口問題に関する件

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

文教行政の基本施策に関する件等閉会中審査報告書

一 文教行政の基本施策に関する件

二 学校教育に関する件

三 社会教育に関する件

四 体育に関する件

五 学術研究及び宗教に関する件

六 国際文化交流に関する件

七 文化財保護に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

文教委員長 伊吹 文明

臓器の移植に関する法律案等閉会中審査報告書

一 臓器の移植に関する法律案(森井忠良君外十三名提出、第百二十九回国会衆法第七号)

二 厚生関係の基本施策に関する件

三 社会保障制度、医療、公衆衛生、社会福祉及び人口問題に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

厚生委員長 岩垂寿喜男

臓器の移植に関する法律案等閉会中審査報告書

一 臓器の移植に関する法律案(森井忠良君外十三名提出、第百二十九回国会衆法第七号)

二 厚生関係の基本施策に関する件

三 社会保障制度、医療、公衆衛生、社会福祉及び人口問題に関する件

右各件は審査を終了するに至らなかった。

右報告する。

平成七年八月三日

衆議院議長 土井たか子殿

厚生委員長 岩垂寿喜男

農林水産業の振興に関する件等閉会中審査報告書 一 農林水産業の振興に関する件 二 農林水産物に関する件 三 農林水産業団体に関する件 四 農林水産金融に関する件 五 農林漁業災害補償制度に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 農林水産委員長 中西 續介 衆議院議長 土井たか子殿	五 海上保安に関する件 六 観光に関する件 七 気象に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 運輸委員長 井上 一成 衆議院議長 土井たか子殿	建設行政の基本施策に関する件等閉会中審査報告書 一 建設行政の基本施策に関する件 二 都市計画に関する件 三 河川に関する件 四 道路に関する件 五 住宅に関する件 六 建築に関する件 七 国土行政の基本施策に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 建設委員長 遠藤 和良 衆議院議長 土井たか子殿	右報告する。 平成七年八月三日 科学技術委員長 野呂 昭彦 衆議院議長 土井たか子殿 環境保全の基本施策に関する件等閉会中審査報告書 一 環境保全の基本施策に関する件 二 公害の防止に関する件 三 自然環境の保護及び整備に関する件 四 快適環境の創造に関する件 五 公害健康被害救済に関する件 六 公害紛争の処理に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 環境委員長 阿部 昭吾 衆議院議長 土井たか子殿	通商産業の基本施策に関する件等閉会中審査報告書 一 通商産業の基本施策に関する件 二 中小企業に関する件 三 資源エネルギーに関する件 四 特許及び工業技術に関する件 五 経済の計画及び総合調整に関する件 六 私的独占の禁止及び公正取引に関する件 七 鉱業と一般公益との調整等に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 商工委員長 白川 勝彦 衆議院議長 土井たか子殿	一 通信行政に関する件等閉会中審査報告書 二 郵政事業に関する件 三 郵政監察に関する件 四 電気通信に関する件 五 電波監理及び放送に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 通信委員長 自見庄三郎 衆議院議長 土井たか子殿	国の安全保障に関する件等閉会中審査報告書 一 国の安全保障に関する件 右件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 安全保障委員長 神田 厚 衆議院議長 土井たか子殿	予算の実施状況に関する件等閉会中審査報告書 一 予算の実施状況に関する件 右件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 予算委員長 佐藤 観樹 衆議院議長 土井たか子殿	陸運に関する件等閉会中審査報告書 一 陸運に関する件 二 海運に関する件 三 航空に関する件 四 港湾に関する件	労働関係の基本施策に関する件等閉会中審査報告書 一 労働関係の基本施策に関する件 二 労使関係、労働基準及び雇用・失業対策に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。 右報告する。 平成七年八月三日 労働委員長 笹山 登生 衆議院議長 土井たか子殿	科学技術振興の基本施策に関する件等閉会中審査報告書 一 科学技術振興の基本施策に関する件 二 原子力の開発利用とその安全確保に関する件 三 宇宙開発に関する件 四 海洋開発に関する件 五 生命科学に関する件 六 新エネルギーの研究開発に関する件 右各件は審査を終了するに至らなかった。	平成四年度一般会計歳入歳出決算等閉会中審査報告書 一 平成四年度一般会計歳入歳出決算 平成四年度特別会計歳入歳出決算
---	---	--	---	--	--	---	--	---	--	--	---

平成四年度国税収納金整理資金受払計算書
 平成四年度政府関係機関決算書
 二 平成四年度国有財産増減及び現在額総計算書
 三 平成四年度国有財産無償貸付状況総計算書
 四 平成五年度一般会計歳入歳出決算
 平成五年度特別会計歳入歳出決算
 平成五年度国税収納金整理資金受払計算書
 平成五年度政府関係機関決算書
 五 平成五年度国有財産増減及び現在額総計算書
 六 平成五年度国有財産無償貸付状況総計算書
 七 平成四年度一般会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(その2)(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 八 平成四年度特別会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 九 平成四年度特別会計予算総則第十四条に基づく経費増額総調査及び各省各庁所管経費増額調査(その2)(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 一〇 平成五年度一般会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(その1)(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 一一 平成五年度特別会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(その1)(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 一二 平成五年度特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調査及び各省各庁所管経費増額調査(その1)(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 一三 平成五年度一般会計予備費使用総調査及び

各省各庁所管使用調査(その2)(承諾を求めるの件)
 一四 平成五年度特別会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(その2)(承諾を求めるの件)
 一五 平成五年度特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調査及び各省各庁所管経費増額調査(その2)(承諾を求めるの件)
 一六 平成六年度一般会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(その1)(承諾を求めるの件)
 一七 平成六年度特別会計予備費使用総調査及び各省各庁所管使用調査(その1)(承諾を求めるの件)
 一八 平成六年度特別会計予算総則第十四条に基づく経費増額総調査及び各省各庁所管経費増額調査(その1)(承諾を求めるの件)
 一九 平成四年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調査(承諾を求めるの件)(第百二十九回国会、内閣提出)
 二〇 平成五年度決算調整資金からの歳入組入れに関する調査(承諾を求めるの件)
 二一 歳入歳出の実況に関する件
 二二 国有財産の増減及び現況に関する件
 二三 政府関係機関の経理に関する件
 二四 国が資本金を出資している法人の会計に関する件
 二五 国が直接又は間接に補助金、奨励金、助成金等を交付し又は貸付金、損失補償等の財政援助を与えているものの会計に関する件
 右各件は審査を終了するに至らなかった。
 右報告する。

平成七年八月三日 決算委員長 石井 一
 衆議院議長 土井たか子殿
 国会法等改正に関する件等閉会中審査報告書
 一 国会法等改正に関する件
 二 議長よりの諮問事項
 三 その他議院運営委員会の所管に属する事項
 右各件は審査を終了するに至らなかった。
 平成七年八月三日
 議院運営委員長 中村正三郎
 衆議院議長 土井たか子殿
 災害対策に関する件閉会中審査報告書
 一 災害対策に関する件
 右件は審査を終了するに至らなかった。
 平成七年八月三日
 災害対策特別委員長 日野 市朗
 衆議院議長 土井たか子殿
 公職選挙法改正に関する件閉会中審査報告書
 一 公職選挙法改正に関する件
 右件は審査を終了するに至らなかった。
 平成七年八月三日
 公職選挙法改正に関する調査特別委員長 松永 光
 衆議院議長 土井たか子殿

石炭対策に関する件閉会中審査報告書
 一 石炭対策に関する件
 右件は審査を終了するに至らなかった。
 平成七年八月三日
 石炭対策特別委員長 愛野興一郎
 衆議院議長 土井たか子殿
 物価問題等国民の消費生活に関する件閉会中審査報告書
 一 物価問題等国民の消費生活に関する件
 右件は審査を終了するに至らなかった。
 平成七年八月三日
 消費者問題等に関する特別委員長 大石 正光
 衆議院議長 土井たか子殿
 交通安全対策に関する件閉会中審査報告書
 一 交通安全対策に関する件
 右件は審査を終了するに至らなかった。
 平成七年八月三日
 交通安全対策特別委員長 貝沼 次郎
 衆議院議長 土井たか子殿
 沖縄及び北方問題に関する件閉会中審査報告書
 一 沖縄及び北方問題に関する件
 右件は審査を終了するに至らなかった。
 右報告する。

平成七年八月三日

沖繩及び北方問題に
関する特別委員長 鈴木 宗男
衆議院議長 土井たか子殿

国会等の移転に関する件閉会中審査報告書
国会等の移転に関する件
右件は審査を終了するに至らなかった。
右報告する。

平成七年八月三日

国会等の移転に関
する特別委員長 中山 利生
衆議院議長 土井たか子殿

地方分権の推進に関する件閉会中審査報告書
地方分権の推進に関する件
右件は審査を終了するに至らなかった。
右報告する。

平成七年八月三日

地方分権に関する
特別委員長 笹川 堯
衆議院議長 土井たか子殿

規制緩和に関する件閉会中審査報告書
規制緩和に関する件
右件は審査を終了するに至らなかった。
右報告する。

平成七年八月三日

規制緩和に関する
特別委員長 塚田 延充
衆議院議長 土井たか子殿

召集に応じた議員の氏名

北海道

第一区選出

町村 信孝君 長内 順一君
荒井 聰君 佐藤 静雄君
池田 隆一君

第二区選出

今津 寛君 五十嵐 広三君
佐々木 秀典君 金田 英行君

第三区選出

佐藤 孝行君 鉢呂 吉雄君
金田 誠一君

第四区選出

鳩山 由紀夫君 高橋 辰夫君
池端 清一君 渡辺 省一君
小平 忠正君

第五区選出

中川 昭一君 北村 直人君
武部 勤君 鈴木 宗男君
永井 哲男君

青森県

第一区選出

大島 理森君 津島 雄二君
今村 修君

第二区選出

竹内 黎一君 田澤 吉郎君

岩手県

第一区選出

玉沢 徳一郎君 鈴木 俊一君
工藤 堅太郎君 中村 力君

第二区選出

宮城県

第一区選出

沢藤 礼次郎君 志賀 節君
愛知 和男君 三塚 博君
岡崎 トミ子君 千葉 国男君
伊藤 宗一郎君

第二区選出

菊池 福治郎君 日野 市朗君
大石 正光君

秋田県

第一区選出

野呂 田芳成君 二田 孝治君
島山 健治郎君
村岡 兼造君 笹山 登生君
御法川 英文君

山形県

第一区選出

鹿野 道彦君 近藤 鉄雄君
遠藤 利明君 遠藤 登君
加藤 敏一君 阿部 昭吾君
近岡 理一郎君

福島県

第一区選出

根本 匠君 増子 輝彦君
佐藤 剛男君

第二区選出

渡部 恒三君 斎藤 文昭君
玄葉 光一郎君 穂積 良行君

第三区選出

茨城県

第一区選出

荒井 広幸君 坂本 剛二君
田中 直紀君 木幡 弘道君
塚田 延充君 額賀 福志郎君
中山 利生君 葉梨 信行君

第二区選出

梶山 静六君 大島 章宏君
塚原 俊平君

第三区選出

中村 喜四郎君 丹羽 雄哉君
赤城 徳彦君 二見 伸明君
竹内 猛君

栃木県

第一区選出

渡辺 美智雄君 船田 元君
篠瀬 進君 小林 守君
蓮実 進君

第二区選出

茂木 敏充君 藤尾 正行君
山岡 賢次君 青山 二三君
神田 厚君

群馬県

第一区選出

尾身 幸次君 佐田 玄一郎君
田邊 誠君

第二区選出

谷津 義男君 笹川 堯君
中島 洋次郎君

第三区選出	小淵 恵三君	福田 康夫君	第四区選出	井奥 貞雄君	狩野 勝君	第十区選出	山口那津男君	鴨下一郎君	第三区選出	稲葉 大和君
埼玉県	山口 鶴男君	中曾根康弘君	東京都	長浜 博行君	富田 茂之君	島村 宜伸君	佐々木陸海君	鯨岡 兵輔君	第三区選出	田中眞紀子君
第一区選出	今井 宏君	福留 泰蔵君	第一区選出	海江田万里君	与謝野 馨君	伊藤 達也君	山花 貞夫君	伊藤 公介君	第四区選出	村山 達雄君
第二区選出	松永 光君	石田 勝之君	第二区選出	柴野たいぞう君	新井 将敬君	高木 陽介君	伊藤 公介君	伊藤 公介君	第四区選出	白川 勝彦君
第三区選出	山口 敏夫君	五十嵐ふみこ君	第三区選出	大内 啓伍君	宇佐美 登君	岩佐 恵美君	上田 勇君	伊藤 茂君	富山県	第一区選出
第四区選出	宮地 正介君	矢島 恒夫君	第四区選出	遠藤 乙彦君	宇佐美 登君	栗本慎一郎君	中田 宏君	伊藤 茂君	第一区選出	住 博司君
第五区選出	増田 敏男君	加藤 卓二君	第五区選出	石井 紘基君	越智 通雄君	栗本慎一郎君	小此木八郎君	伊藤 茂君	第二区選出	長勢 甚遠君
第六区選出	永山英太郎君		第六区選出	小杉 隆君	松本 善明君	越智 通雄君	小此木八郎君	伊藤 茂君	第二区選出	綿貫 民輔君
第七区選出	武山百合子君	山田 英介君	第七区選出	山田 宏君	高橋 一郎君	松本 善明君	市川 雄一君	松沢 成文君	第三区選出	萩山 教蔵君
第八区選出	細川 律夫君	三ツ林弥太郎君	第八区選出	石原 伸晃君	吉田 公一君	高橋 一郎君	岩垂寿喜男君	小泉純一郎君	第四区選出	奥田 敬和君
第九区選出	上田 清司君	枝野 幸男君	第九区選出	鮫島 宗明君	吉田 公一君	吉田 公一君	佐藤謙一郎君	中島 章夫君	第五区選出	嶋崎 讓君
千葉県	若松 謙維君	福永 信彦君	第十区選出	鮫島 宗明君	吉田 公一君	吉田 公一君	佐藤謙一郎君	中島 章夫君	第六区選出	上田 晃弘君
第一区選出	野田 佳彦君	岡島 正之君	第十一区選出	柿澤 弘治君	不破 哲三君	不破 哲三君	米田 建三君	土田 龍司君	第七区選出	堀内 光雄君
第二区選出	鳥居 一雄君	臼井日出男君	第十二区選出	東 祥三君	西川太一郎君	西川太一郎君	大出 俊君	小泉 晨一君	第八区選出	堀内 光雄君
第三区選出	志位 和夫君		第十三区選出	菅 直人君	渡辺浩一郎君	渡辺浩一郎君	河野 洋平君	小泉 晨一君	第九区選出	堀内 光雄君
第四区選出	水野 清君	実川 幸夫君	第十四区選出	小澤 潔君	大野由利子君	大野由利子君	亀井 善之君	小泉 晨一君	第十区選出	堀内 光雄君
第五区選出	林 幹雄君	須藤 浩君	第十五区選出	鳩山 邦夫君	深谷 隆司君	深谷 隆司君	新潟県	小泉 晨一君	第十一区選出	堀内 光雄君
第六区選出	森 英介君	浜田 靖一君	第十六区選出	太田 昭宏君	浜野 剛君	浜野 剛君	新潟県	小泉 晨一君	第十二区選出	堀内 光雄君
第七区選出	大木 正吾君	中村正三郎君	第十七区選出	中島 武敏君			新潟県	小泉 晨一君	第十三区選出	堀内 光雄君
第八区選出			第十八区選出				新潟県	小泉 晨一君	第十四区選出	堀内 光雄君
第九区選出			第十九区選出				新潟県	小泉 晨一君	第十五区選出	堀内 光雄君
第十区選出			第二十区選出				新潟県	小泉 晨一君	第十六区選出	堀内 光雄君
第十一区選出			第二十一区選出				新潟県	小泉 晨一君	第十七区選出	堀内 光雄君
第十二区選出			第二十二区選出				新潟県	小泉 晨一君	第十八区選出	堀内 光雄君
第十三区選出			第二十三区選出				新潟県	小泉 晨一君	第十九区選出	堀内 光雄君
第十四区選出			第二十四区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十区選出	堀内 光雄君
第十五区選出			第二十五区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十一区選出	堀内 光雄君
第十六区選出			第二十六区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十二区選出	堀内 光雄君
第十七区選出			第二十七区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十三区選出	堀内 光雄君
第十八区選出			第二十八区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十四区選出	堀内 光雄君
第十九区選出			第二十九区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十五区選出	堀内 光雄君
第二十区選出			第三十区選出				新潟県	小泉 晨一君	第二十六区選出	堀内 光雄君

第二区選出	羽田 孜君	井出 正一君	平田 米男君	佐藤 泰介君	山名 靖英君	谷垣 禎一君	第二区選出	土井たか子君	小池百合子君
第三区選出	堀込 征雄君		青山 丘君	草川 昭三君	豊田潤多郎君		第三区選出	宮本 一三君	冬柴 鐵三君
第四区選出	中島 衛君	小川 元君	第三区選出	久野統一郎君	大阪府	正森 成二君	第四区選出	原 健三郎君	渡海紀三朗君
第五区選出	宮下 創平君		海部 俊樹君	江崎 鐵磨君	第一区選出		第五区選出	井上 喜一君	
第六区選出	村井 仁君	唐沢俊二郎君	佐藤 觀樹君	浦野 休興君	第二区選出	中山 正暉君	第六区選出	永井 孝信君	戸井田三郎君
第七区選出	北沢 清功君		伊藤 英成君	川島 實君	第三区選出	東中 光雄君	第七区選出	赤松 正雄君	吉岡 賢治君
第八区選出	松田 岩夫君	武藤 嘉文君	村田敬次郎君	早川 勝君	第四区選出	近江巳記夫君	第八区選出	後藤 茂君	
第九区選出	野田 聖子君	渡辺 嘉藏君	赤松 広隆君	石田幸四郎君	第五区選出	井上 一成君	第九区選出	高市 早苗君	前田 武志君
第十区選出	河合 正智君		大谷 忠雄君	片岡 武司君	第六区選出	久保 哲司君	第十区選出	奥野 誠亮君	森本 晃司君
第十一区選出	藤井 孝男君	金子 一義君	三重県	三重県	第七区選出	吉井 英勝君	第十一区選出	田野瀬良太郎君	西 博義君
第十二区選出	山下八洲夫君	古屋 圭司君	第一区選出	坂口 力君	第八区選出	北側 一雄君	第十二区選出	島取県選出	野田 実君
第十三区選出	原田昇左右君	牧野 聖修君	第二区選出	中井 治君	第九区選出	西村 眞悟君	第十三区選出	石破 茂君	平林 鴻三君
第十四区選出	大口 善徳君	松前 仰君	滋賀県選出	石井 智君	第十区選出	中馬 弘毅君	第十四区選出	野坂 浩賢君	相沢 英之君
第十五区選出	杉山 憲夫君	齊藤斗志二君	京都府	川端 達夫君	第十一区選出	中村 正男君	第十五区選出	竹下 登君	細田 博之君
第十六区選出	前島 秀行君	木部 佳昭君	第一区選出	山元 勉君	第十二区選出		第十六区選出	石橋 大古君	櫻内 義雄君
第十七区選出	栗原 裕康君		滋賀県選出	前原 誠司君	第十三区選出	岡崎 宏美君	第十七区選出	錦織 淳君	
第十八区選出	熊谷 弘君	塩谷 立君	第二区選出	竹内 讓君	第十四区選出	石井 一君	第十八区選出	江田 五月君	逢沢 一郎君
第十九区選出	安倍 基雄君	柳沢 伯夫君	第三区選出	野中 広務君	第十五区選出		第十九区選出	平沼 赳夫君	日笠 勝之君
第二十区選出	河村たかし君	青木 宏之君	第四区選出	寺前 巖君	第十六区選出		第二十区選出	熊代 昭彦君	

第二区選出	加藤 六月君	目沼 次郎君	愛媛県	第一区選出	関谷 勝嗣君	中村 時広君	長崎県	坂井 隆憲君	第二区選出	小里 貞利君	濱田 健一君	松下 忠洋君
広島県	第一区選出	岸田 文雄君	齊藤 鉄夫君	第二区選出	越智 伊平君	村上誠一郎君	第二区選出	西岡 武夫君	久間 章生君	第三区選出	山中 貞則君	二階堂 進君
第二区選出	秋葉 忠利君	栗屋 敏信君	第三区選出	山本 公一君	田中 恒利君	西田 司君	熊本県	虎島 和夫君	金子原二郎君	仲村 正治君	古堅 実吉君	上原 康助君
第三区選出	中川 秀直君	森井 忠良君	高知県選出	田中 恒利君	西田 司君	司君	第一区選出	山田 正彦君	山崎 泉君	古堅 実吉君	宮里 松正君	
山口県	池田 行彦君	谷川 和穂君	福岡県	中谷 元君	石田 祝稔君	山本 有二君	第二区選出	山原健二郎君	五島 正規君	熊本県	細川 護熙君	野田 毅君
第一区選出	宮澤 喜一君	亀井 静香君	第一区選出	石田 祝稔君	山本 有二君	山崎 拓君	第二区選出	倉田 栄喜君	田中 昭一君	指定された議席	大谷 忠雄君	穀田 恵二君
山口県	小森 龍邦君	佐藤 守良君	福岡県	山崎 拓君	太田 誠一君	橋崎弥之助君	大分県	矢上 雅義君	東家 嘉幸君	園田 博之君	渡瀬 憲明君	川端 達夫君
第二区選出	安倍 晋三君	林 義郎君	第二区選出	神崎 武法君	松本 龍君	三原 朝彦君	第一区選出	村山 富市君	衛藤征士郎君	畑 英次郎君	衛藤 晟一君	枝野 幸男君
第二区選出	河村 建夫君	古賀 敬章君	第二区選出	北橋 健治君	岩田 順介君	東 順治君	第二区選出	村山 富市君	衛藤征士郎君	畑 英次郎君	衛藤 晟一君	玄葉光一郎君
徳島県選出	松岡満壽男君	吹田 幌君	第三区選出	岩田 順介君	古賀 正浩君	権藤 恒夫君	宮崎県	第一区選出	江藤 隆美君	大原 一三君	米沢 隆君	田中 甲君
後藤田正晴君	遠藤 和良君	七条 明君	第四区選出	山本 幸三君	弘友 和夫君	自見庄三郎君	第二区選出	堀之内久男君	持永 和見君	高見 裕一君	山口 敏夫君	橋崎弥之助君
香川県	藤本 孝雄君	三野 優美君	佐賀県選出	山下 徳夫君	愛野興一郎君	保利 耕輔君	鹿児島県	第一区選出	保岡 興治君	徳田 虎雄君	宮崎 和明君	宮崎 茂一君
第二区選出	月原 茂皓君	森田 一君	佐賀県選出	山下 徳夫君	愛野興一郎君	保利 耕輔君	鹿児島県	第一区選出	保岡 興治君	徳田 虎雄君	宮崎 和明君	宮崎 茂一君

五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二
池田 隆一君	永井 哲男君	濱田 健一君	井出 正一君	中島 章夫君	錦織 淳君	志位 和夫君	不破 哲三君	鳩山由紀夫君	菅 直人君	佐々木陸海君	寺前 巖君	東中 光雄君	山花 貞夫君	後藤 茂君	海江田万里君	小森 龍邦君	渡海紀三朗君	荒井 聰君	山原健二郎君	松本 善明君	正森 成二君	吉岡 賢治君	土肥 隆一君	大矢 卓史君	岡崎 宏美君	小沢 鋭仁君	前原 誠司君	中島 武敏君	古堅 実吉君	堀込 征雄君	牧野 聖修君

八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四
園田 博之君	西川太一郎君	坂上 富男君	北沢 清功君	遠藤 登君	山元 勉君	田中 昭一君	佐々木秀典君	三原 朝彦君	久保 哲司君	興石 東君	岩田 順介君	石井 智君	五島 正規君	細谷 治通君	榊屋 敬悟君	秋葉 忠利君	細川 律夫君	佐藤 泰介君	岡崎トミ子君	小林 守君	若松 謙維君	大畠 章宏君	鉢呂 吉雄君	赤松 広隆君	松本 龍君	上田 勇君	畠山健治郎君	今村 修君	山崎 泉君	横光 克彦君	中田 宏君

二一七	二一六	二一五	二一四	二一三	二一二	二一一	二一〇	一〇九	一〇八	一〇七	一〇六	一〇五	一〇四	一〇三	一〇二	一〇一	一〇〇	九九	九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六
中西 續介君	田中 恒利君	竹内 猛君	嶋崎 譲君	森井 忠良君	加藤 万吉君	日野 市朗君	月原 茂皓君	伊藤 茂君	池端 清一君	辻 一彦君	永井 孝信君	山下八洲夫君	大木 正吾君	和田 貞夫君	中村 正男君	武村 正義君	井奥 貞雄君	関山 信之君	松前 仰君	左近 正男君	沢藤礼次郎君	田口 健二君	三野 優美君	田中 秀征君	東 祥三君	石橋 大吉君	緒方 克陽君	早川 勝君	前島 秀行君	渡辺 嘉蔵君	網岡 雄君

一四九	一四八	一四七	一四六	一四五	一四四	一四三	一四二	一四一	一四〇	一三九	一三八	一三七	一三六	一三五	一三四	一三三	一三二	一三一	一三〇	一二九	一二八	一二七	一二六	一二五	一二四	一二三	一二二	一二一	一二〇	一一九	一一八
鴨下 一郎君	谷口 隆義君	山本 孝史君	豊田潤多郎君	福岡 泰蔵君	富田 茂之君	初村謙一郎君	岩浅 嘉仁君	石田 勝之君	山田 宏君	石井 啓一君	松沢 成文君	赤羽 一嘉君	竹内 譲君	高市 早苗君	伊藤 達也君	高木 陽介君	吉田 治君	奥田 敬和君	村山 富市君	大出 俊君	山口 敏夫君	野坂 浩賢君	田名部匡省君	五十嵐広三君	田邊 誠君	上原 康助君	井上 一成君	佐藤 観樹君	岩垂寿喜男君		

一五〇	河村たかし君	一八一	岡島 正之君	二二二	羽田 孜君	二四三	実川 幸夫君
一五一	西 博義君	一八二	古賀 正浩君	二二三	目沼 次郎君	二四四	江崎 鐵磨君
一五二	赤松 正雄君	一八三	井上 喜一君	二二四	石井 一君	二四五	広野ただし君
一五三	太田 昭宏君	一八四	仲村 正治君	二二五	鳥居 一雄君	二四六	工藤堅太郎君
一五四	青木 宏之君	一八五	安倍 基雄君	二二六	愛野興一郎君	二四七	藤村 修君
一五五	弘友 和夫君	一八六	高橋 一郎君	二二七	草川 昭三君	二四八	永井 英慈君
一五六	渡辺浩一郎君	一八七	石破 茂君	二二八	加藤 六月君	二四九	宮本 一三君
一五七	河合 正智君	一八八	野呂 昭彦君	二二九	阿部 昭吾君	二五〇	岡田 克也君
一五八	山田 正彦君	一八九	遠藤 和良君	二三〇	小沢 辰男君	二五一	北橋 健治君
一五九	千葉 国男君	一九〇	杉山 憲夫君	二二二	矢上 雅義君	二五二	北側 一雄君
一六〇	山崎広太郎君	一九一	森本 晃司君	二二三	中村 時広君	二五三	山口那津男君
一六一	今井 宏君	一九二	山岡 賢次君	二二四	榊床 伸二君	二五四	石田 祝稔君
一六二	白沢 三郎君	一九三	松岡満壽男君	二二五	佐藤 茂樹君	二五五	木幡 弘道君
一六三	吉田 公一君	一九四	日笠 勝之君	二二六	福島 豊君	二五六	柳田 稔君
一六四	田端 正広君	一九五	二階 俊博君	二二七	須藤 浩君	二五七	河上 翠雄君
一六五	青山 二三君	一九六	山田 英介君	二二八	野田 佳彦君	二五八	小坂 憲次君
一六六	倉田 栄喜君	一九七	中井 洽君	二二九	笹木 竜三君	二五九	高木 義明君
一六七	平田 米男君	一九八	坂口 力君	二三〇	大口 善徳君	二六〇	坂本 剛二君
一六八	増子 輝彦君	一九九	吹田 惺君	二三一	古賀 敬章君	二六一	小平 忠正君
一六九	古賀 一成君	二〇〇	鹿野 道彦君	二三二	土田 龍司君	二六二	大野由利子君
一七〇	遠藤 乙彦君	二〇一	二見 伸明君	二三三	斉藤 鉄夫君	二六三	川島 實君
一七一	東 順治君	二〇二	西岡 武夫君	二三四	上田 晃弘君	二六四	塚田 延充君
一七二	今津 寛君	二〇三	海部 俊樹君	二三五	柴野たいぞう君	二六五	前田 武志君
一七三	山本 拓君	二〇四	権藤 恒夫君	二三六	山本 幸三君	二六六	松田 岩夫君
一七四	金子徳之介君	二〇五	畑 英次郎君	二三七	西村 眞悟君	二六七	村井 仁君
一七五	星野 行男君	二〇六	愛知 和男君	二三八	上田 清司君	二六八	冬柴 鐵三君
一七六	増田 敏男君	二〇七	神田 厚君	二三九	米田 建三君	二六九	笹川 堯君
一七七	小池百合子君	二〇八	伊藤 英成君	二四〇	長内 順一君	二七〇	神崎 武法君
一七八	新井 将敬君	二〇九	細川 護熙君	二四一	山名 靖英君	二七一	笹山 登生君
一七九	北村 直人君	二一〇	米沢 隆君	二四二	鮫島 宗明君	二七二	栗屋 敏信君
一八〇	大石 正光君	二一一	石田幸四郎君				

平成七年八月四日 衆議院會議録第一号(一) 指定された議席

二七四	熊谷 弘君	三〇五	塩谷 立君	三六七	江藤 隆美君	三六八	塩川正十郎君
二七五	藤井 裕久君	三〇六	石原 伸晃君	三三七	宮崎 茂一君	三六八	坂本三十次君
二七六	船田 元君	三〇七	大野 功統君	三三八	三塚 博君	三六九	竹内 黎一君
二七七	鳩山 邦夫君	三〇八	二田 孝治君	三三九	瓦 力君	三七〇	葉梨 信行君
二七八	宮地 正介君	三〇九	武部 勤君	三四〇	小泉純一郎君	三七一	佐藤 孝行君
二七九	中島 衛君	三一〇	金子 一義君	三四一	額賀福志郎君	三七二	藤尾 正行君
二八〇	小沢 一郎君	三一一	穂積 良行君	三四二	山本 有二君	三七三	二階堂 進君
二八一	市川 雄一君	三一二	村上誠一郎君	三四三	越智 伊平君	三七四	河本 敏夫君
二八二	中野 寛成君	三一二	伊吹 文明君	三四四	村田敬次郎君	三七五	原田 憲君
二八三	渡部 恒三君	三一三	尾身 幸次君	三四五	綿貫 民輔君	三七六	奥野 誠亮君
二八四	野田 毅君	三一四	川崎 二郎君	三四六	林 義郎君	三七七	村山 達雄君
二八五	佐藤 守良君	三一五	加藤 卓二君	三四七	梶山 静六君	三七八	田村 元君
二八六	左藤 恵君	三一六	金子原二郎君	三四八	高島 修君	三七九	櫻内 義雄君
二八七	青山 丘君	三一七	自見庄三郎君	三四九	中山 太郎君	三八〇	原 健三郎君
二八八	江田 五月君	三一八	森田 一君	三九〇	中尾 栄一君	三八一	小野 晋也君
二八九	近江巳記夫君	三一九	小杉 隆君	三五〇	谷垣 禎一君	三八二	荒井 広幸君
二九〇	土井たか子君	三二〇	大原 一三君	三五一	中村正三郎君	三八三	岸田 文雄君
二九一	長浜 博行君	三二一	桜井 新君	三五二	鯨岡 兵輔君	三八四	浜田 靖一君
二九二	根本 匠君	三二二	稲垣 実男君	三五三	田中真紀子君	三八五	金田 英行君
二九三	七条 明君	三二三	堀内 光雄君	三五四	野中 広務君	三八六	稲葉 大和君
二九四	安倍 晋三君	三二四	丹羽 雄哉君	三五五	高村 正彦君	三八七	林 幹雄君
二九五	松下 忠洋君	三二五	菊池福治郎君	三五六	玉沢徳一郎君	三八八	田野瀬良太郎君
二九六	熊代 昭彦君	三二六	池田 行彦君	三五七	龜井 静香君	三八九	斎藤 文昭君
二九七	岸本 光造君	三二七	野呂田芳成君	三五八	小澤 潔君	三九〇	鈴木 俊一君
二九八	横内 正明君	三二八	谷 洋一君	三五九	小里 貞利君	三九一	住 博司君
二九九	佐藤 剛男君	三二九	石橋 一弥君	三六〇	宮下 創平君	三九二	古屋 圭司君
三〇〇	松岡 利勝君	三三〇	坂井 隆憲君	三六一	与謝野 馨君	三九三	赤城 徳彦君
三〇一	衛藤 晟一君	三三一	木村 義雄君	三六二	橋本龍太郎君	三九四	中島洋次郎君
三〇二	山口 俊一君	三三二	大石 千八君	三六三	河野 洋平君	三九五	齊藤斗志一君
三〇三		三三三		三六四	伊藤宗一郎君	三九六	若林 正俊君
三〇四		三三四		三六五	渡辺美智雄君	三九七	田中 直紀君

三九八	逢沢 一郎君	四一九	佐藤 信二君	四六〇	中曾根康弘君	四九一	谷津 義男君
三九九	小川 元君	四二〇	越智 通雄君	四六一	宮澤 喜一君	四九二	渡瀬 憲明君
四〇〇	御法川英文君	四二一	亀井 善之君	四六二	野田 聖子君	四九三	萩山 教嚴君
四〇一	鈴木 宗男君	四二二	平林 鴻三君	四六三	小此木八郎君	四九四	狩野 勝君
四〇二	甘利 明君	四二三	島村 宜伸君	四六四		四九五	徳田 虎雄君
四〇三	西銘 順治君	四三四	衛藤征士郎君	四六五		四九六	栗本慎一郎君
四〇四	中川 昭一君	四三五	中川 秀直君	四六六	栗原 博久君	四九七	中村喜四郎君
四〇五	持永 和見君	四三六	唐沢俊二郎君	四六七	山本 公一君	四九八	浦野 休興君
四〇六	宮里 松正君	四三七	中山 正暉君	四六八	栗原 裕康君	四九九	堀之内久男君
四〇七	奥田 幹生君	四三八	近藤 鉄雄君	四六九		五〇〇	西田 司君
四〇八	白井日出男君	四三九	松永 光君	四七〇		五〇一	津島 雄二君
四〇九	藤井 孝男君	四四〇	志賀 節君	四七一	蓮実 進君	五〇二	渡辺 省一君
四一〇	佐田玄一郎君	四四一	森 喜朗君	四七二	橋 康太郎君	五〇三	大内 啓伍君
四一一	古賀 誠君	四四二	武藤 嘉文君	四七三	茂木 敏充君	五〇四	柿澤 弘治君
四一二	中馬 弘毅君	四四三	加藤 紘一君	四七四		五〇五	佐藤 静雄君
四一三	伊藤 公介君	四四四	粕谷 茂君	四七五	中村 力君	五〇六	保岡 興治君
四一四	高橋 辰夫君	四四五	谷川 和雄君	四七六	福田 康夫君	五〇七	村岡 兼造君
四一五	中谷 元君	四四六	山崎 拓君	四七七	河村 建夫君	五〇八	相沢 英之君
四一六	町村 信孝君	四四七	平沼 赳夫君	四七八	福永 信彦君	五〇九	後藤田正晴君
四一七	片岡 武司君	四四八	山下 徳夫君	四七九	村田 吉隆君	五一〇	関谷 勝嗣君
四一八	大島 理森君	四四九	深谷 隆司君	四八〇	遠藤 利明君	五一一	塚原 俊平君
四一九	浜野 剛君	四五〇	小淵 恵三君	四八一	石井 紘基君		
四二〇	田原 隆君	四五一	木部 佳昭君	四八二	虎島 和夫君		
四二一	東家 嘉幸君	四五二	藤本 孝雄君	四八三	久野統一郎君		
四二二	保利 耕輔君	四五三	平泉 涉君	四八四	宮路 和明君		
四二三	野田 実君	四五四	三ツ林弥太郎君	四八五	細田 博之君		
四二四	長勢 甚遠君	四五五	水野 清君	四八六	森 英介君		
四二五	久間 章生君	四五六	竹下 登君	四八七	小泉 晨一君		
四二六	麻生 太郎君	四五七	宇野 宗佑君	四八八	糸山英太郎君		
四二七	中山 利生君	四五八	田澤 吉郎君	四八九	白川 勝彦君		
四二八	戸井田三郎君	四五九	山中 貞則君	四九〇	柳沢 伯夫君		

中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に
反対する決議案
右の議案を提出する。
平成七年八月四日

提出者
中村正三郎 谷垣 禎一
額賀福志郎 木村 義雄
坂井 隆憲 森本 晃司

岡島 正之 木幡 弘道
永井 孝信 小沢 鋭仁
賛成者
平林 鴻三外二十六名

中国の核実験に抗議し、フランスの核実験に反対する決議

本院は、わが国が広島・長崎への原爆投下を経験した唯一の被爆国であることにかんがみ、あらゆる国の核実験に反対する。

中国の地下核実験に続き、フランスが核実験の再開を決定したことは、それがいかなる理由に基づこうとも、いかなる条件が付されていようとも、地球環境と生態系を破壊し、人類の生存をも脅かす行為である。さらに両国の核実験は、核不拡散条約への信頼を損ない、全面核実験禁止条約交渉に悪影響を及ぼしかねない。

本院は、核兵器廃絶への不断の努力を行うことを誓い、中国の核実験に嚴重に抗議し、フランスが核実験再開決定を撤回するよう強く求める。

政府は、本院の趣旨が伝わるよう中国、フランス両国政府に対し、直ちに適切な措置を講ずるとともに、すべての国の核兵器の製造、実験、貯蔵、使用にも反対し、全面核実験禁止条約の早期締結に努力すべきである。

右決議する。

平成七年八月四日 衆議院会議録第一号(一)

一六

明治三十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

官報

号外

平成七年八月四日

○第百三十三回国 衆議院會議録 第一号(二)

平成七年八月四日(金曜日)

開会式

午後二時五十九分 参議院議長、衆議院参議院の副議長、常任委員長、特別委員長、参議院の調査会長、衆議院参議院の議員、内閣総理大臣その他の國務大臣、最高裁判所長官及び会計検査院長は、式場である参議院議場に入り、所定の位置に着いた。

午後三時 天皇陛下は、衆議院議長の前で行で式場に入られ、お席に着かれた。

衆議院議長は、次の式辞を述べた。

天皇陛下の御臨席をいただき、第百三十三回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し上げます。

去る七月二十三日参議院議員の通常選挙が行われ、本日をもって臨時国会が新たな構成のもとに召集されました。

われわれは、決意を新たにし、内外の諸情勢に対処して、責任ある諸施策の推進に万全を期さなければなりません。

ここに、開会式にあたり、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法の精神を体し、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえようとするものであります。

次いで、天皇陛下から次のおことばを賜った。

本日、第百三十三回国会の開会式に臨み、参議院議員通常選挙による新議員を迎え、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、国権の最高機関として、現下の内外の諸情勢に対処するに当たり、その使命を遺憾なく果たし、国民の信託にこたえることを切に希望します。

衆議院議長は、おことば書をお受けした。

午後三時五分 天皇陛下は、参議院議長の前で行で式場を出られた。

次いで、一同は式場を出た。

午後三時六分式を終わる

平成七年八月四日 衆議院会議録第一号(二)

明治三十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

発行所	〒105 東京都港区
大蔵省印刷局	虎ノ門二丁目四番四号
電話	03 (3587) 4294
定価	103円
送料	3円(税別)
配付	税別